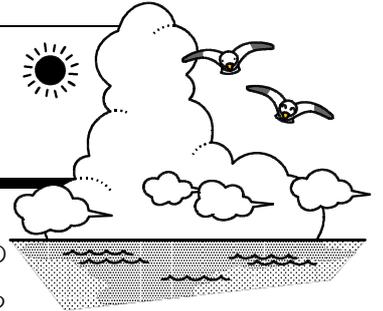


リレー記事 No.98

いろいろ環境ラベル



先日、スーパーで買い物をしていると、「海のエコラベル」というものを見つけました。「海のエコラベル」は持続可能で適切に管理されている漁業だと認められているマークだそうです。同じ輸入サケでも産地が違って、ラベルがついているのとなっていないのが並んでいました。サケの養殖は海を汚染すると聞いているので、海のエコラベルがついているとちょっと安心です。



調べてみると、馴染みのあるマークから見たこともないような様々な環境ラベルがありました。

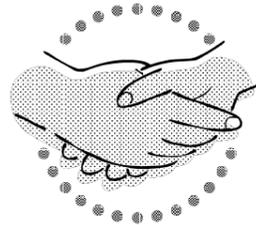


国や第三者機関から事業者団体、地方公共団体独自のもの、世界共通などの多種多様なラベルがありました。ラベルがついてないと環境に悪い製品だというわけではないですが、環境や社会への配慮のもとに調達・生産された製品として、買い物する時のひとつの目安となるのではないのでしょうか。ごみを捨てる時は、プラなどの識別マークをみて分別する人は多いと思いますが、購入するときにも環境ラベルをチェックするといいですね。

福岡県から「認定NPO法人」に認定されました!

平成27年4月1日、認定NPO法人の認定を受けました。認定NPO法人とは、所轄庁から「より客観的な基準において高い公益性をもっている」と判定されたNPO法人です。現在、福岡県内にNPO法人は1,700以上ありますが、認定NPO法人はそのうちの13団体です。「高い公益性」の持つ意味を腹に据え、これからも日々の活動に取り組みます。

これまで「持続可能な社会の実現を、私たちの地域から」を合い言葉に活動を続けてきました。今回、認定を機会に「社会とつながる暮らしの心地よさを広げる」という副題をつけました。これから認定の5ヵ年持続可能な社会の実現のための方策のひとつを具体化し取り組むためです。



私たちは、より多くの方が、不特定の人のために、自ら「チカラを持ち出すこと」が、地域ひいては社会を持続可能にしていく手段のひとつだと考えます。そしてそのことが「心地よい」と感じられなければ、その広がりや継続は難しいでしょう。エコけんは、持続可能な社会を私たちの地域から実現するために、社会とつながる暮らしの心地よさを広げる活動を行います。

「社会とつながる暮らし」と「心地よさ」



①ひとりひとりのエコ暮らし

エコ暮らしは、毎日誰にでもできるお手軽な環境保全活動です。無理なく続けられる生活スキルとその共有が、手間や心理的ハードルを下げ、どこかの誰かと同じ思いでつながっているという心地よさを創ります。

②1%のチカラの持ち出し

主体的なあと1%の時間提供(ボランティア活動)や資金提供(寄付)というチカラの持ち出しが、社会的課題に対する当事者意識や地域社会への帰属意識から派生する満足感という心地よさを創ります。

③将来への希望

持続可能な社会であるためのイノベーションを起こす・支える一員としての自覚と実践が、将来に希望を抱く心地よさを創ります。

エコけんHPトップページより1部抜粋 <<S>>

エコけんのメールアドレスが変わりました!

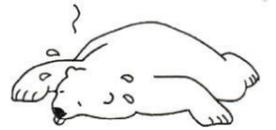
New! ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp

ホームページは、<http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>



平成27年度「しろくまプロジェクト」始動!

3年目のしろくまプロジェクト、さらにパワーアップして始動しました。しろくまプロジェクトは、おとなの力を持ちよって、子ども達に体験型の生活環境教室(しろくま教室)をプレゼントする企画です。



4月1日に140校ほどの小学校宛に、教室の案内を送ったところ、1ヶ月もたたないうちに10校からご依頼がありました。総児童数は781人にのぼります。実施希望日は6月から2月までの間に分散していますので、じっくりと取り組むことができそうです。

しろくま教室の運営はエコけんが受け持ちますが、それに必要な資金やお手伝いを広く募集しています。言うまでもなく子どもの育ちにはさまざまな体験が欠かせませんが、今の子ども達には生活体験が不足していますし、学習の場である学校にはそれを補うだけの人手や資材が不足していると言われます。子どもは未来を担うみんなの宝です。だからみんなで子どもの育ちを応援したいと考えています。どうぞ少しの力を私たちにお貸しください。



1口1000円の寄付を広く募集しています。

3口以上の寄付は税金の控除対象になります。

詳しくは、エコけんにお問い合わせいただくかホームページの申込先をご覧ください。



教室の準備や当日のアシスタント、発送準備のお手伝いを募集しています。

エコとも登録をお願いします。

毎月1回、E-mail でご連絡します。



エコとも登録は
コチラ

しろくまプロジェクトは、言ってみれば、「私たちの子ども」のための、1品持ち寄りパーティのようなもの。それぞれ持ち寄るのは、人手や資金だったり、教具教材の材料や更新アイデアだったり…。

どうぞ皆さまお気軽にご参加ください。

しろくまカフェ 予告

『プロジェクトの報告』『大人版しろくま教室』『しろくま教室で用いる教材・教具の開発』など、盛りだくさんの内容のしろくまカフェにも広くご参加案内しています。

平成28年 2月28日 (日)



◀前年度のようす

<<S>>

ハウスでやれば、『とんてん』だ! いろいろ開催中!

遊びにきてね!

とんてん市 《フリマ&ハンドメイド雑貨市》

毎月第2、第4金曜日 10:30~15:00

エコけんハウス (古賀市天神1-19-21)



▲手作り巾着キット

とんてん教室 《環境体験講座》

玉ねぎドレッシングを作ろう!

お手製のドレッシングで玉ねぎを活かすエコエコクッキング!

6/12(金) 13:30~15:00

■参加費 200円 ■定員 5名
■場所 エコけんハウス

予約は簡単! お電話で! お待ちしています。

大切に永く使う私がお作る

エコけんハウスにて

7/10(金) 13:30~15:00

■定員 5名 ■参加費 1,000円

手作りを通じたエコ暮らしの提案

かまこ

in 古賀南区公民館

8/23(金) 13:30~15:30

参加無料 対象小学生親子

いらなくなったおもちゃの交換会です!

バスボムを作ろう

バスボムづくりを通して排水配慮を学ぶ

9/11(金) 13:30~15:00

■参加費 300円 ■定員 5名

■場所 エコけんハウス



未来を創ろうインタビュー

No.43 古賀市教育長

長谷川 清孝 氏

4月に着任されたばかりの、新進気鋭の教育長に取材に行きました。

長谷川教育長は今年60才になられるそうですがとても若々しく、気さくな方です。ご就任前の37年間に教員生活や市役所、町役場、県教育センター、福岡教育事務所など行政を経験されたそうで古賀市とも縁が深いスポーツマンでいらっしゃいました。

環境保全にも早くから関心があり、若い時から山やスキーに行かれてもごみは持ち帰っていたそうです。学校教育課長時代も小学校の机の中のトレーや中学校の制服などのリユース、古紙回収を率先して実行されました。「お古を着ても恥ずかしくないよ」「ものを大切に」の心を教え続けてこられたのだそうです。



Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか

A. 人口が増えていく日本にしていく
自然を大切に 子育て環境を大切に

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. 地球を汚さない生活 家庭でも環境教育
学校、家庭、地域が一緒になって物事を
進める合校（ガッコウ）

未来を創る私の思い

それぞれの立場で“いのち・生命”を

大切にしていって取り組みを実践していきましょう

自然が豊かで空気がおいしい環境。学校、家庭、地域（社会）が一緒になって物事に取り組む環境が大切だとお話して下さいました。又、家庭から環境教育！とご自分の子供さんにごみの分別が自然に身につくように自ら実践し続けておられます。

今は、人口減を心配され子育てのしやすい環境を大切にしていきたいとの事でした。今後のご活躍が楽しみです。

《日女》

次回のぼらんず

※ぼらんずとは、毎月のボランティア清掃です。

雨天中止



6月 9日 (火)

15:00~1時間程度

エコロの森周辺

詳しくはお問合せください。



未来を創ろうインタビュー

No.44 特定非営利活動法人 古賀新宮子ども劇場代表 金子 佐知子 氏

かえって開催時にご協力を頂いている古賀新宮子ども劇場の金子さんにお話を伺ってきました。お子さんが小さいときに子ども劇場にお世話になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。我が家も随分お世話になり、人気が出る前のいっこく堂さんの舞台を間近に見たのが思い出となっています。

子ども劇場は、生の舞台芸術を子どもに触れさせたいという福岡の主婦の思いから全国に広がったもので、古賀新宮子ども劇場は、今年で35年とのこと。少子高齢化の影響は他に変わらず、会員が減少傾向にあるのが悩みだそうです。それでも、キャンプ、プレーパークなどには、高校生や大学生、ひいては成長した社会人までが手伝いに来てくれるそうです。金子さんは、直接会って話すことを大事にし、子どもが自分らしくいられる場の提供を心がけておられるそうで、それが、社会人になっても関わり続ける子たちがいる所以でしょう。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか。

A. 子どもの権利条約が活かされる子どもに
優しいまちづくり

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけて
おられることがあれば聞かせてください。

A. 人と人のつながりを大切にし、相手の気持ち
を思いやる

未来を創る私の思い

子どもの立場にたって

子どもの主体性を大切にする大人が増えますように

金子さんは、毎朝、小学生の登校時間に合わせて犬の散歩に行き、登校中の子どもたちのおしゃべりを日課にしておられるそうです。子どもを見守り、何かあったら手をさしのべられる関係づくりをご自分の地域でも実践しておられます。相手を受け入れ居心地をよくする包容力のある素敵なお方でした。

《Ms, W》

■ 特定非営利活動法人 古賀新宮子ども劇場とは

“子ども劇場”という名称は「おとなと子どもが共に育ちあう広場＝劇場」という意味。プロの創造団体による、舞台劇や人形劇、音楽、芸能など幅広いジャンルの生の舞台を親や仲間と一緒に年5回鑑賞。

